

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	環境保全対策の推進	コード	作成者	役職	環境課長
		05-09-40	野道徹也	氏名	野道徹也
			電話	0869-64-1821・1822	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	この施策は、市民が健康で文化的な生活を確保するために欠くことのできない施策であり、地球温暖化対策にも貢献している。
-----------------------	---

この施策の 平成26年度の 施政方針	生活環境を守るため、引続き公害監視を行うとともに、地球温暖化防止対策として、BDF事業の促進を図り、資源の有効活用・ごみ減量に取り組んでまいります。また、電気自動車等の普及を図るため、急速充電施設等のインフラ整備の充実に努めてまいります。
--------------------------	---

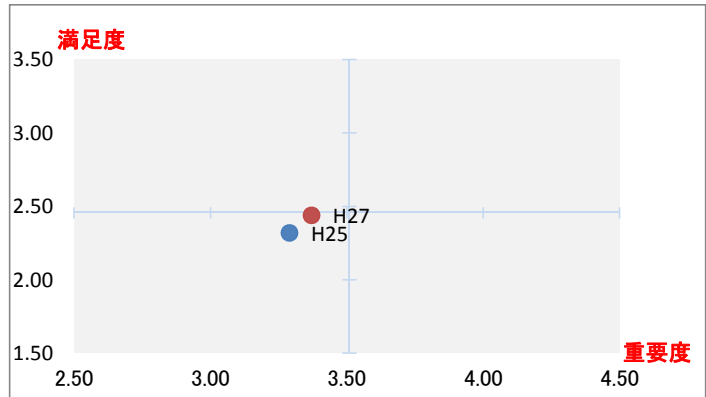
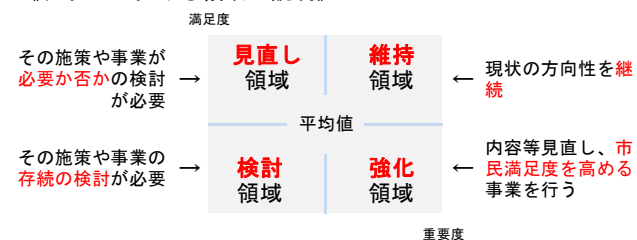
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画（中項目）	09 環境を大切に未来につなぐまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に悪影響を及ぼす物質の発生を抑制する ・市民、事業者が環境に対する意識を高め、二酸化炭素の排出抑制の実践等、環境にやさしいまちづくりに取り組む ・地域特性を生かした自然エネルギーを導入し、エネルギーの地産池消を図る 	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水の汚れ、悪臭、騒音、振動などの公害に対する監視や防止に引き続き取り組む必要がある ・市民、事業者、行政などすべての主体が地球的規模の環境問題を認識する必要がある 	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・公害監視体制の強化 ・公害の未然防止 ・地球温暖化対策の推進 ・環境学習の推進 ・スマートコミュニティ構想の推進 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.29	3.37
満足度 (%)	2.32	2.44

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	環境保全対策の推進は、重要度も満足度ともに若干向上しているものの、平均を下回っている。空気のきれいな町、再生可能エネルギー・バイオなどの意見記載があり、また、引き続き公害問題についての苦情、問い合わせが寄せられている。今後も、市民意識の向上を図るとともに、環境の保全や改善・地球温暖化防止に向けた取り組みを行っていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
地球温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果	H27	50.0
	実績	%	27.4		29.0		H28	50.0
	達成率	%	54.8		58.0		H34	70.0
	ベンチマーク						—	—
公害苦情件数	目標	件	60	60	60	公害の実態把握の指標の一つとなる	H27	60
	実績	件	75	107	37		H28	50
	達成率	%	75.0	21.7	138.3		H34	20
	ベンチマーク						—	—
エネルギー需要量の削減割合 (平成2年比:地域エネルギービジョン)	目標	%	21.0	22.0	23.0	備前市地域エネルギービジョン	H27	24.0
	実績	%	22.0	22.0	22.5		H28	25.0
	達成率	%	104.8	100.0	98.0		H34	30.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標③	目標						H27	
	実績						H28	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	野谷坑廃水処理場改修事業	老朽化している処理場を改修し、施設を自動化することにより、水質改善を図る。
備前市	公共施設の省エネルギー化	公共施設を省エネルギー化し、二酸化炭素の削減に努める。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	エコライフの実践や太陽光パネルの設置など、地域温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の増加は、環境意識が高まりエネルギー消費の削減につながる	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公害の苦情件数の推移は、良好な生活環境の実現度合いの目安となる ・地球温暖化防止に取り組むことで二酸化炭素排出を抑えることができる 	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	市が率先して地球温暖化防止対策に取り組むとともに、環境保全や改善についての市民意識の向上を地道に啓発していかなければならない。	
進行年度(H27年度)の取組内容 (課題解決状況)		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への太陽光発電など自然エネルギー導入 ・電気自動車等の普及 	
翌年度(H28年度)の取組目標		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の省エネルギー化、低炭素化に取り組む ・老朽化した坑廃水処理施設の改修の検討 	
二次評価者コメント		公害防止施策は従来どおりの取り組みを継続し、特に今後は自然エネルギーの積極的利用等地球温暖化防止施策として進取の取り組みを推進していくことが肝要であると考えます。	基本施策への 貢献度 4 やや高い
役職	市民生活部長		
氏名	藤原弘章		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	大気汚染防止事業	大気環境測定局維持管理事業	単市	6,314	424	0.05	5,543	267	0.03	5,588	0	0.00	6,240	☆☆☆☆☆
		大気汚染監視事業	単市	45	913	0.11	45	440	0.05	47	241	0.03	47	☆☆☆☆☆
		測定機器整備事業	単市	1,113	79	0.01	3,339	238	0.03	0	0	0.00	0	☆☆☆
		環境改善施設等整備助成事業	補助	0	159	0.02	0	0	0.00	0	0	0.00	0	* 休止
		届出受付事務	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	161	0.02	0	☆☆
		苦情処理事務	単市	0	626	0.07	0	360	0.04	0	1,766	0.22	0	☆☆☆☆
02	休廃止鉱山鉱害防止事業	坑廃水処理事業	補助	51,013	38,757	7.33	39,587	38,346	7.11	34,953	36,558	6.85	50,317	☆☆☆☆☆
		水質調査測定事業	単市	1,398	768	0.09	1,339	519	0.06	1,362	883	0.11	1,549	☆☆☆☆☆
03	水質汚濁防止事業	測定機器整備事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆☆☆
		岡山三川水質汚濁防止協議会負担金	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	80	0.01	0	☆☆
		金剛川浄化対策協議会運営事務	単市	790	1,205	0.14	790	663	0.08	790	562	0.07	500	☆☆☆
		苦情処理事務	単市	0	706	0.08	0	360	0.04	0	161	0.02	0	☆☆☆☆
		届出受付事務	単市	0	172	0.02	0	94	0.01	0	161	0.02	0	☆☆
04	騒音・振動・悪臭対策事業	規制地域の指定、規制基準の設定	単市	0	662	0.08	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆☆
		苦情処理事務	単市	0	331	0.04	0	548	0.06	0	273	0.03	0	☆☆☆☆
		地球温暖化防止対策事業	補助	3,240	6,931	0.72	988	2,335	0.27	34,058	1,798	0.22	9,336	☆☆☆☆☆
05	地球温暖化防止事業	エコハウス管理事業	単市	3,468	1,209	0.14	2,561	958	0.11	2,294	161	0.02	2,300	☆☆☆
		スマートコミュニティ構想普及事業	単市	0	5,263	0.50	0	8,970	0.85	0	193	0.02	0	☆☆☆☆
06	環境保全対策事業	環境保全対策審議会運営事務	単市	57	464	0.05	203	468	0.05	65	482	0.06	72	☆☆☆
		こどもエコクラブ推進事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆☆☆
		自動車騒音常時監視事務	法定	785	265	0.03	483	375	0.04	864	80	0.01	2,534	☆☆☆
		各種教室等実施事業	単市	0	79	0.01	0	62	0.01	0	0	0.00	0	☆☆☆☆
07	庁用物品調達管理事業	庁用物品調達管理事業+燃料関係事務	単市	2,969	878	0.10	1,507	684	0.07	962	603	0.06	1,271	☆☆☆
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度								
			71,192	59,891	9.59	56,385	55,687	8.91	80,983	44,163	7.77	74,166		

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度	H17.3.22~	根拠法令・例規等	水質汚濁防止法
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	環境課
	中項目	基本計画	09	環境を大切にしたい未来につなぐまち	
	小項目	施策	40	環境保全対策の推進	
事務事業名		02	休廃止鉱山鉱害防止事業	職・氏名	保全係長・石野 隆彦
				電話	64-1822
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水を利用する吉永地域及び三石地区の市民・事業者	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的 (何のために)	鉱害防止を目的として農作物への被害防止や生活環境の保全を図るため。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水質を保全し環境基準を達成する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	坑廃水処理事業	板屋・金谷・野谷の坑廃水処理場で中和処理を行い、河川の水質保全を図る。	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	51,013	39,587	34,953	
	必要人員	人件費	千円	7.33人	38,757	7.11人	
	事業費	計	千円	89,770	77,933	71,511	
	財源	国	支出金	千円	58,028	54,274	59,317
		受	益者負担	千円	306	169	324
		繰	入金	千円			
	受	市	債	千円			
		一	般財源	千円	31,436	23,490	11,870
	受	益者負担比率	%	0.3%	0.2%	0.5%	
結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
	説明						
	結果指標量			257,100	261,682	289,690	
	対前年比	%		98.4%	101.8%	110.7%	
	活動コスト	円		89,770,000	77,933,000	71,511,000	
単位当たりコスト			349	298	247		

事業の成果		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
環境基準内達成率	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値 (A)		1	1	1	1
	実績値 (B)		0.988	0.966	1	到達目標値
達成率 (B/A)		98.80%	96.60%	100.00%	1	
成果指標設定の考え方・式や説明						
3処理場において、坑廃水を安定した中和処理を行い、環境基準を超過することのないように事業を実施する。(月1回処理場の処理水を採水し、鉄、浮遊物質、鉛、ヒ素を分析している)						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性の評価 A
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性の評価 B

進行年度 (H27年度) の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	各処理場の設備は新しい施設でも建設から十数年経過し、老朽化が進んでおり、修繕・改修の必要性がある。野谷坑廃水処理場の大規模改修工事を国と協議しながら計画的に進める。														

総合評価		総合評価
老朽化した野谷坑廃水処理場の改修工事に向け、効率・効果・必要性をよく協議・精査し、準備を進めていく。		A

平成28年度の方向性・取組目標		Action														
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○						取組目標
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
	○															
取組目標	常に安定した坑廃水の中和処理を実施できているが、この処理は半永久的にしなければならず、施設の更新、修繕を計画的に実施し、各河川の水質を保持する。															

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度		H17.3.22~		根拠法令・例規等		水質汚濁防止法		
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問	担当課(室)	環境課		
	中項目	基本計画	09	環境を大切にしたい未来につなぐまち			合	職・氏名	保全係長・石野隆彦	
	小項目	施策	40	環境保全対策の推進			先	電 話	64-1822	
事務事業名		03		水質汚濁防止事業		このシート作成に要した時間		1.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	測定地点の水を利用する備前市民及び市内事業者		
目的(何のために)	農作物への被害防止や生活環境の保全を図るため。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水質を保全し環境基準を達成する。市内各地の水質の状況を把握する。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	水質調査測定事業	河川・湖沼・海域等で、定期及び臨時(異常発見時)の水質調査を行い、状況把握をする。	◎
	測定機器整備事業	測定機の整備を行なう。	△
	岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	吉井川水系の水質保全と汚濁事故の未然防止に努める。	○
	苦情処理事務	河川・湖沼・海域等での水質汚濁に関する苦情を解決する。	◎
	金剛川浄化対策協議会運営事務	金剛川の水質改善を目的とする団体の運営	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	2,188	2,129	2,152
	必要人員	人	0.31人	0.18人	0.21人
	事業費	千円	4,867	3,671	3,838
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
一般財源		千円	4,867	3,671	3,838
受		%	-	-	-
益		%	-	-	-
者		%	-	-	-
負		%	-	-	-
担		%	-	-	-
比		%	-	-	-
率		%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	環境水調査	回	30	33	35
	対前年比	%	100.0%	110.0%	106.1%
	活動コスト	円	4,867,000	3,671,000	3,838,000
	単位当たりコスト	円	162,233	111,242	109,657

事業の成果		平成26年度事業				
環境基準超過回数	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値(A)		16	16	16	16
	実績値(B)		19	28	23	到達目標値
達成率(B/A)			118.75%	175.00%	143.75%	16
成果指標設定の考え方・式や説明						
環境水の水質測定で環境基準を超過した回数と目標値に対する比率						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H27年度)の改革改善内容	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	今後も環境水調査を実施し、公共用水域の状況を把握する必要がある。

総合評価		Action	
水質環境については、市民が安心して生活できる環境が望まれる。さらなる水質改善のため、公共下水道の整備等の整備により生活雑排水の放流を少なくする必要がある。今後も、水質調査を実施し、安全・安心な生活が送られるように、水質の状況を把握していく。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B

平成28年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
取組目標	事業の継続性は高いものなので、今後もコスト意識を持ち環境保全に努めていく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 H17.3.22~		根拠法令・例規等	環境基本法
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	環境課 保安係長・石野 隆彦 64-1822
	中項目	基本計画	09	環境を大切にしたい未来につなぐまち	
	小項目	施策	40	環境保全対策の推進	
事務事業名		06		環境保全対策事業	このシート作成に要した時間 1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前市内居住者	
目的 (何のために)	省エネルギーやグリーン購入などをはじめ、自然保護や公害防止などに努めることで自然環境を大切にすることの重要性を普及させる。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	自然保護や省エネルギーなど市民の環境保全意識を高め、実行できるように努める。	

事業の実績			Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	環境保全対策審議会運営事務	備前市の環境保全全般にわたる諮問機関の運営	◎	
	こどもエコクラブ推進事業	こどもエコクラブに関する事務	△	
	自動車騒音常時監視事務	自動車騒音監視事務	◎	
	各種教室等実施事業	自然環境や省エネルギーなどの各種啓発事業の実施	○	

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	直接事業費	千円	842	686	929	
	必要人員費	人件費	0.09人	808	0.10人	905
	事業費計	千円	1,650	1,591	1,491	
	国庫支出金	千円				
	受益者負担	千円				
繰入金	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	1,650	1,591	1,491		
受益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	説明	公害防止協定締結数		
	対前年比	%	23	23	25
	活動コスト	円	100.0%	100.0%	108.7%
	単位当たりコスト	円	1,650,000	1,591,000	1,491,000

事業の成果						(平成26年度事業)
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
通報等対応件数	目標値 (A)	60	60	60	60	
	実績値 (B)	71	107	37	到達目標値	
	達成率 (B/A)	118.33%	178.33%	61.67%	60	
成果指標設定の考え方・式や説明						
通報事業が減少するよう啓発を進めていくとともに、事案発生時には速やかに対応して市民満足度の向上を図る。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 市民参画度 <input type="checkbox"/> 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度 (H27年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	各種団体と協働しながら啓発活動を進めていく。通報等へは速やかに対応し、通報者の心情に配慮して解決を図る。						

総合評価		B
今後も学校等の総合学習を利用させていただき、子供の頃から環境に対する知識を習得することで、地域での環境意識の拡大を図ることで、地域環境の保全に寄与するものと考えられることから、継続した事業の展開が必要である。通報等への対応は、係内だけでなく他部署との連携協力も含めてサービスを維持できるようにする。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	各種環境団体との協力体制の強化や数年単位の普及計画の作成と予算の確保を行い、他部署との連携を保ちながら環境保全に努めていく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Check

Action

